

おとずれ

(発行者)富士吉田カトリック教会

(住所)〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL)0555-22-3199

(FAX)0555-25-7002

2025年11月第519号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

ラウダート・シ:第 15 回横浜教区懇談会

佐々木カブリーニ成子



大きな期待を抱いて、山中湖サレジオ会のシスター大西いく子さんと甲府カトリック教会の塚原将生さんと共に、第 15 回横浜教区懇談会に出席しました。軽井沢にある御聖体の宣教聖クララ修道会までは車で片道 4 時間かかりましたが、修道院を訪れるのが大好きな私にとってはまったく苦ではありませんでした。謙虚なカトリック教会のシスターの方々は、多くの人に見過ごされがちですが、彼女た

ちは主への献身において素晴らしい模範となってくださいます。神奈川、静岡、長野、山梨の 4 県から約 60 名が参加しました。懇談会のテーマは、フランシスコ教皇の回勅「ラウダート・シ(あなたは称えられますように)」でした、しかし私たちの教区の教会の現状についても学ぶ機会となりました。ラファエル梅村昌弘司教様には、8 月の家族の堅信式を含め、最近何度かお会いしていましたが、この会に当たってこれほど情熱と確信を持ってお話されるのを見たのは初めてでした。

回勅は、人間への配慮と地球への配慮を融合させた「総合的なエコロジー」の生き方を私たちに呼びかけています。この調和を実現するために、『あなたは称えられますように』という回勅を元にした本「見よ、それはきわめてよかった」は教会のアプローチを導く 3 つのステップ、「観る、識別する、行動する」を概説しています。「観る」とは、世界の現実を目を開くこと、被造物の苦しみや、環境的・社会的不正義の影響を受けている人々の苦闘に気づくことを意味します。「識別する」とは、福音の光の中でこれらの現実を見極め、信仰と教会の教えに導かれることを意味します。「行動する」とは、苦しみや不正義を引き起こしているものに対して行動を起こし、それらを変革することを意味します。

最初の講話は、新潟教区のパウロ成井大介司教様が行いました。私の家族の回心は秋田の聖母マリア様によるものだったので、ずっとお会いしたいと思っていた司教様でした。司教様はアッシジの聖フランチェスコの太陽の賛歌から引用された「ラウダート・シ」の意味と意義について語りました。教皇様の書簡の 7 つの目標は、オンラインまたは本書でご覧いただけます。成井司教様はまず、この回勅が創造という贈り物をくださった神への賛美と感謝から始まることを指

摘しました。この感謝の姿勢は、世界と互いに対する私たちのあらゆる行動の基盤となるべきです。また、ラウダート・シは人間生活のあらゆる側面と深く結びついていることを強調しました。何かを買うという単純な行為を例に挙げ、私たちは購入する商品だけでなく、販売者やそれに関わるすべての人々について考えるべきだと、そして、それが道徳的に正しいかどうかを見極めるよう求められていることを説明されました。

成井司教様は、第 5 目標エコロジカルな教育が、真の教育は家庭から始まること、つまり感謝と創造物への敬意という価値観を最初に学ぶべきだと思い起こさせてくれると述べました。さらに、第 7 目標の地域社会のレジリエンスとエンパワーメントは、隣人との関係を大切にし、強めるよう呼びかけています。真の信仰は行動を通して示されると述べ、ラウダート・シは単なる目標の羅列ではなく、愛する人々を守るための手段として捉えるべきだと強調しました。最後に、ラウダート・シを単に学術書として学ぶだけでなく、その精神を日常生活に取り入れるよう、すべての人に促しました。

成井司教様の講話の後、私たちはグループで話し合いを行い、司教様のメッセージについて振り返りました。多くの人が、小さくても意義のある行動から始めようと決意を新たにしました。私のグループは、聖書に出てくる「良きサマリア人」のように人々を助けるという部分に焦点を当てました。話し合いは、祈り、証し、そして具体的な行いを通して、ラウダート・シを体現し続けようという共通の決意で締めくくられました。

2日目の質疑応答の時間には、梅村司教様が参加者から寄せられたいくつかの質問を読み上げ、お答えになりました。その中に、私が書いた「横浜教区は現在、どのような福音宣教活動を実施、あるいは準備していますか」という質問がありました。司教様は、福音宣教は教区組織的な活動に限定されるものではなく、私たち一人ひとりが違う方法で福音を証しする特別な召命を神から受けているのだと答えられました。

最も心に響いたメッセージは、梅村司教様が神学生数の減少など、教会が現在直面している課題について報告された時でした。司教様の懸念は、その後、厳しい警告へと変わりました。高齢者の信徒が介護施設に入所し、亡くなった後にカトリックの葬儀を受けないという、教会と彼らとの疎遠が問題となっているのです。司教様は、現代社会が彼らを軽視したり、無視したりする傾向に警鐘を鳴らしました。これは、私が最近様々な市長や市役所職員と話をした際にも学んだことです。梅村司教様は、教会は家族であり、一人ひとりが助け合いと愛を通して教会を支えるという重要な役割を担っていることを、皆に厳しく戒めました。また、すべての聖職者、修道者、信徒が、神の召命に従って教会に仕える必要性を強調しました。

懇談会は、梅村司教様の司式によるミサで閉幕しました。説教の中で信者の方々に、私たちは皆、この地上を旅する旅人であり、永遠の故郷を目指して共に旅をしているのだと言われました。これは、その日の朗読であるルカによる福音書 16 章から引用されたものです。私たちの主であるイエスが私たちに無条件の愛を与えてくださったように、私たちも他の人々にそうすべきです。そして、申命記 10 章 18 節にあるように、貧しい人、未亡人、孤児に仕えるよう、すべての人に促しました。これは、教皇フランシスコが始め、教皇レオ 14 世が完成させた、貧しい人々を思いやる回勅「ディレクシ・テ」を思い起こさせました。多くの人々が、この教皇様と司教様の勧めに、大きな意欲を持って共に「行動」してくださることを祈ります。

甲府教会献堂 100 周年記念ミサ参加記

使徒聖ヨハネ 東海林義夫



梅村昌弘司教様をはじめ、芹沢博仁神父(甲府教会)、千葉俊一神父(富士吉田教会)、姜^{カン} 真求^{ジング}神父(荏崎教会)ロエド・デサンパルド神父(聖ビンセンシオ宣教会)、ポルトガル語ミサ担当ジャイメ・コエリヨ神父(イエズス会)、ベトナム語ミサ担当ファム・ディン・ソン神父(厚木教会)、甲府教会に尽力していただきましたミッシェル・ゴーチエ神父(パリミッション会)、山田宏享神父(津久井教会)、白木信一神父(松本教会)の司祭の方々が、共同司式でミサが進められました。

山梨県カトリック発祥の地は山城地区です。時代は、移り現在地にどっしりとした石作り外観の教会は、戦時化の戦火に耐え抜き奇蹟的に焼け落ちなかった。(御生前、デルボス神父より体験談をお聞きしました。) 祝賀会では、祈杯で始まり、みんなで交わり楽しく深める。

最後に司教様は故教皇ヨハネ・パウロ 2 世の有名な「平和アピール」で締めくくられました。
「過去を思い出すことは、未来に責任を負うこと」(1981 年 2 月 25 日広島)

私たち一人一人が、『希望の巡礼者』をして歩んでいけますように…。

10 月教会委員会議事録

2025年 10 月 11 日

参加者:千葉神父・新井・江守・大野・小林・佐々木(成)・曾根・福永・和田
オブザーバー:ステファン・ザビエル

1. 富士吉田教会の今後の宣教の方向について

来年から認定こども園になる小さき花幼稚園、ヨハネ学園、ヨハネ会、サレジアンシスターズ、富士五湖ダルクとの交わりを今後より一層深めていきたい。日本の教会全体が厳しい状況になってゆく中、カトリック諸団体間の協力関係を強めていくことが求められる。ヨハネ学園や富士五湖ダルクの代表者に教会に来ていただいたり、こちらから訪問して現状の説明を聴いたりする。

2. ミサ後のお茶会の今後について

集会室でのお茶会を始めて2年になるが、残念ながら定着しなかった。これからは温かいお茶・コーヒー・菓子・野菜等を外の司祭用駐車場にテーブルを出して置くことにする。寒い場合は別途検討する。集会室に入っ

て飲んでもらってもかまわない。

3. 財務チーム

＊2026 年度予算承認

・10 月 4 日各係より提出いただいた予算案と 8 月までの実績と年間数値予想をもとに予算をチームにて予算作成。

・大きく予算額を増やした科目は「小規模修繕」(墓地一部更地化工事)、「賃借料」(新しいコピー機リース料と新しい AED 機器リース料)、「水道光熱費」(聖堂エアコン設置使用電気料)

・収入部分としては、「月定献金」「ミサ献金」は昨年と同じ予算金額。「特別事業献金」(修繕積立金)については、再来年 2027 年度司祭・信徒館のメンテナンス事業のため多額の金額が必要となるため 100 万円とした。(2023 年から大幅に減額となったがそれまでは同金額近い献金をいただいていた実績も踏まえ)

・幼稚園から聖堂の「施設設備使用料」をこれまで受け取っていたが、教会も幼稚園建物を使わせてもらっているため、来年度から認定こども園になる機会に辞退することとする。

4. 営繕グループ

＊再来年 2027 年度予定の司祭・信徒館15年目のメンテナンス(足場を組んでの防水工事予定)にかかる費用約 350 万円のための専用募金箱設置について

・「修繕積立金」を現在の 3 倍くらいに増やしていただけるようお願いする。

・専用募金箱をミサ、行事の折に設置

・お知らせにて英語、ベトナム語でもアナウンスして啓蒙する。

＊今後の信徒館定期点検修繕工事費用と聖堂修繕工事の積立について

＊クリスマスのデコレーション刷新について

・リース、ツリー等購入予定

5. 行事企画グループ

＊10/26 ソフィヤさんの料理教室について

・日曜学校は休みにする。幼稚園へのお誘い、今回は見送ることとし、先生のみご案内

・本日現在参加者 大人 10 名 子供5名

＊感謝と喜びの集いについて(10/12 打合せ予定)

- ・ポスターチラシを早く作成して配布したい

＊堅信式の反省として寄せられたご意見について(一部典礼、広報に関わる部分あり)

- ・食事をとる際に流れをよくする工夫(テーブルごとに行った方がよい)
 - ・コロナ前の各テーブルに置く形式に戻しては？
 - ・富士吉田信徒と司教様と交流できる席の工夫が必要だった。
 - ・料理のバリエーションとクオリティや大変良かった。
 - ・質問タイムは抜いてほしくなかった。
 - ・ミサ前に早く来てくれた人へのお茶の用意があればよかった。(暑かったので)
 - ・堅信証明書をお渡しするタイミングや一言挨拶(おとずれなどでも)を聞ければよかった。
 - ・司教様との会話を皆さんとしていただくために呼びかけをする。「お話ししたい方はどうぞ」「どうぞ譲り合ってお話してください。」
- ＊行事の反省を聞く機会がない。今後どうするか？
- ・信徒館に意見ノートを置く。(佐々木成子さん準備)
 - ・聖堂に来訪者の記帳ノートを置く。

6. 典礼グループ

＊堅信式においてのご意見

- ・事前に代父母への説明(代父母としての役割)が必要ではないか？(堅信を受ける人と一緒に勉強会に代父母も参加など)
- ・代父母の定義ガイドラインがある？
- ・直前まで決まらない方もいて今回は現状、時間的にも無理だった。
- ・教えていただいた神父様シスター方、教会への謝礼は？→財務としての立場では、決まりごとは無い。今まではその都度、堅信式に出る方々の間で話し合っていて、いただいていた。
- ・司教様には教会として教区献金をお渡ししている。

＊聖堂お花奉仕について。お花代(祭儀費)を今まで 2,000 円目安→2,500 円で用意していただく。多少金額が出ても、請求してほしい。

7. 広報グループ

＊教会はがき、教会パンフレット作成の件

- ・パンフレット作成準備中。英語版を作る予定

＊堅信式の写真がサレジオ会のフェイスブックに載っていたが、子供顔出し写真への配慮をお願いしたほうがよいのではないか。(あくまでも教会行事なので)

- ・写真掲載に関しては、はっきり明記するべきでは？
- ・写真 NG の方は申し入れてもらう。(集合写真を撮るときはアナウンスする。)

＊今月のおとずれ印刷は 10/24(金曜)PM14:00～にしたい。

8. 一粒会大会

＊AM8:00 教会出発→PM5:00 帰宅予定。

＊バス AM7:45 富士吉田着→トイレ→AM8:00 教会出発→大会開始 AM10:00

＊現地には AM9:00 以降に到着してほしい。(駐車場の関係で)

＊乗用車3台、バスへ10名

＊弁当持参。ごみは持ち帰る。マスク着用。

*前日 AM10:00 に催行するか決定連絡する。(天候)

9. その他

*佐々木成子さんより軽井沢教会研修会報告

・司教様よりラウダート・シ(フランシスコ教皇回勅)の内容説明→信徒全員に伝わらないと意味がない。日常の困っていることに対応。何らかの奉仕をしてほしい。

・「おとずれ」に報告をお願い。

*墓参に関して→今まで、福永ご夫妻が担当してくださっていたが、今後は典礼グループが担当し「墓参のしおり」や灌水器、香炉などの準備を行う。

*11月の七五三に合わせて、該当者を教会記録事務担当小林さんに洗い出してもらう。(3,5,7歳)

教会委員会臨時会議事録

2025年10月11日13:00～

参加者:千葉神父・新井・江守・大野・小林・佐々木(成)・福永(明)・和田

オブザーバー:福永好雄

教会墓地の今後について

運営形態を以下のように変えて存続させていくこととする。

1. 合葬墓地(7区2番48号)5㎡を手放し、共同墓地(7区2番50,51,52号)15㎡をもって教会共同体の墓地として運営していく。

⇒江守より合同会社不動産霊園管理へ更地に伴う書面等の問い合わせを行う。和田より高山建設に5㎡更地工事の依頼を行う。

2. 今後教会墓地の経済面での運営は独立採算制とし、利用者の使用権料と年間管理料を財源として運営し、教会会計本体からの補填はしない。この財源が減少しこれ以上の墓地運営が不可能であると判断された時点で墓地は閉じる。

⇒墓地を閉じる決定をするための財源の目安を明確にする必要がある。

*次回教会委員会臨時会を12月13日(土)13時から行う。墓地運営規定の作成を行う。

教会日誌 (2025年9月16日～2025年10月15日)

【9月】

20日(土)サレジアンシスターズ山中修道院にて、Sr.滝口の「成人のためのカトリック信仰講座」第4回

28日(日)おとずれ10月号 印刷・発送作業

司祭巡回ミサ 荳崎教会姜神父さま司式 ミサ後、信徒館集会室にて茶話会

【10月】

4日(土) 財務チーム2026年度予算案作成

5日(日) ヨハネ祭(忍野・聖ヨハネ学園)本年は富士吉田教会としての出店は無し。

11日(土)教会委員会

12日(日)行事企画グループ 感謝と喜びの集い話し合い

13日(日・祝)一粒会大会 於:函嶺白百合学園(箱根・強羅)富士吉田教会からの参加者 大人14名、子供6名

教会記録

◎籍起こし

グエン ヴァン フン さん

グエン ティ チャム さん

グエン ニャ ミン さん

お知らせ

◎財務チームよりお知らせ

10月11日教会委員会におきまして来年度(2026年度)予算の承認をいただきました。
大きなポイントとしては下記の通りです。

＊来年度大きく増やした科目

- ・小規模修繕費・・・教会墓地一部返却するにあたり更地化工事費用
- ・賃借料・・・コピー機、AED 機器を新しくしたことにより、増額
- ・水道光熱費・・・聖堂にエアコンを導入したことによる夏場の電気料分増額

＊来年度減らしたもの

- ・消耗品費・・・コピー機をカウンター方式にしたことにより、トナー代が減額
- ・施設設備使用料・・・幼稚園より園児聖堂使用することにつき、いただいていたが、教会も幼稚園を使用させていただいている。来年より「認定こども園」に移行する機会に、この使用料をいただかないことにしたい。

＊再来年(2027年度)司祭・信徒館メンテナンス工事に伴い、小規模修繕費が350万円近く必要となる可能性。そこで、月定献金と共に信徒の皆様をお願いしている「修繕積立金」(特別事業献金)の予算を100万円とした。

諸物価高騰の折、大変恐縮ですが、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

(財務チーム:江守香代子)

◎営繕グループよりお知らせ

1年半ほど先の事です。2027年に司祭・信徒館の定期点検メンテナンス工事に伴い、屋根部と壁面の防水工事を行います。施工した「セキスイハイム」によりますと、足場代防水塗装費などで350万円ほどかかります。数年後には聖堂の防水工事も計画しております。

単年で大きなお金を動かすのではなく、毎月の「修繕積立金」を500円の方は1,500円に、1,000円の方は3,000円に3倍程度増額をお願いできれば、大変助かります。と申しますのには、現在、「修繕積立金」の袋をお配りしている約60世帯のうち約40世帯の方々が「修繕積立金」として月平均1,200円を納めてくださっておりますが、年間予算目標の100万円にはほど遠く、できればこの平均を底上げできればと考えております。

また、「献金箱」をミサの折に設置いたします。「修繕積立金」袋にではなく、個人のご都合で「メンテナンス献金箱」でもご献金をお願いできれば、大変助かります。

私たちの心のよりどころであるご聖堂と司祭館・信徒館を、孫子の代まで残していきましょう。

(営繕グループ:和田一郎)

こ よ み

11月				
日付	教会暦	行事内容等	日曜学校	掃除リーダー
11/2(日)	死者の日	お墓参り(典礼)	○	大野
11/8(土)		教会委員会		
11/9(日)	ラテラン教会の献堂		○	福永
11/16(日)	年間第33主日	七五三お祝い 聖歌隊練習	○	
11/22(土)		感謝と喜びの集い準備		
11/23(日)	王であるキリスト	感謝と喜びの集い	○	和田
11/30(日)	待降節第1主日		○	

御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

イタリア語教室(月曜10時):10,17

12 月予定

- ・7 日(日) 待降節第 2 主日 宣教地召命促進の日献金
- ・13 日(土) 教会委員会 教会委員会臨時会
- ・14 日(日) 待降節第 3 主日 黙想会 牧山善彦神父様
- ・21 日(日) 待降節第 4 主日
- ・24 日(水) 主の降誕夜半ミサ 18:30
- ・25 日(木) 主の降誕ミサ 10:00
- ・28 日(日) 聖家族

11 月のミサ奉仕

日	先唱	第1朗読	第2朗読	香部屋
2	遠藤 伸子	東海林義夫	堀内 千鶴	曾根 美香
9	曾根 美香	ヴ ティ ホア	和田 一郎	角 幸子
16	東海林義夫	大野 隆	曾根 慈原	江守香代子
23	小林恵美子	佐々木成子	菅原るみ子	小林恵美子
30	江守香代子	グエン ティ カ	佐々木綾子	中村すみ子